

# 委員会 レポート

委員会では、付託された議案等の審査や所管する事項の諸問題について調査を行っています。



## 議員定数等調査特別委員会

6月14日の委員会では、5つのテーマについて、調査及び検討を重ねました。

### テーマ①議員定数

▼9月定例会で「行方市議会議員の定数を定める条例案」を議員提案する。定数は、現行の24人から削減、何名にするかはさらに審議を深める。

### テーマ②議員報酬

▼県内32市ある中31番目と、他市に比べ低い金額である。市民の理解を得られるかどうかの問題もあるが、今後、若い世代など幅広い年代層から立候補できる環境づくりも必要であるため、さらに調査研究をする。

### テーマ③費用弁償

▼実費弁償として、現行の日額2,000円は妥当である。今後も現行どおりとする。

### テーマ④政務調査費・⑤会派制

▼当面、会派制の導入は行わない。よって、政務調査費も不要である。

議員定数等調査特別委員会（平成21年6月設置）は、議会として自ら議員定数や議員報酬に関する事項の調査を行っています。

## 会派制は導入すべき？ メリットは？

《議会運営委員会》 3月25日

先進地に学ぶ…

## 行政視察報告



### ●会派制について

茨城県鹿嶋市議会  
鹿嶋市議会では、平成17年から会派制を導入しています。所属議員2人以上を会派とみなしており、導入当初は5つの会派が結成されましたが、現在は2つの会派のみとなっています。なお、議長及び副議長は会派に属さないこととしています。

政務調査費については、景気の低迷や政務調査費支出にまつわる問題が取沙汰されている時期にあり、会派制導入当初からありません。

## 所管事務調査 !!



委員会名	調査事項等
教育厚生	6/23 ・学校教育について ・学校給食について ・障害者福祉作業所について ・放課後児童クラブについて
経 済	6/4 ・平成22年度経済部及び農業委員会の主要事業について ・所管施設等の現状について
建 設	6/11 ・市道の整備状況について

「会派及び代表者会議要綱」を定め、常任委員の選任など議会内の人事について会派間の意見の調整、協議等を行っています。議会運営委員会との機能分担等がわかりにくくなっていました。

会派制のメリットとしては、政策の研究や会派間の交渉ができ、議員への政策の周知が徹底されること、またデメリットとしては、会派として意見を集約するので個人の意見が埋没してしまう危険性があることでした。

鹿嶋市議会としては、デメ

リットのほうが目立ってきていると感じており、会派制を必ずしも維持するのではなく、現在、見直しが議論されている状況にあります。

視察を通して、当市議会が会派制の導入を検討するにあたり、課題とすべきことの一端が分かりました。会派制については、議員定数等調査特別委員会の調査項目にもありますが、当委員会としてもさらに調査を深め、一定の考え方を示し、議会内の議論の活性化を図りたいと思います。